

2013年2月のコード委員会報告書の動物福祉の陸生コード改正案 に対する我が国のコメント（仮訳）

第7.x章 アニマルウェルフェアと乳牛の生産方式

第7.x.5条

1. 飼養環境の設計に関する推奨事項

f) 畜舎の設置場所、構造及び設備

(第4パラグラフ)

帯電機器（例 カウトレーナー、帯電式の出入口）は、牛の快適性を阻害する問題の増加と関連があるため、可能な限り、使用すべきではない。もし、使用する場合は、牛に対する苦痛やストレスを最小限にするよう実施しなければならない。

(理由)

カウトレーナーについては、牛が排尿姿勢をとった時にのみ、体に触れるような設置位置（キ甲部の上）にする、高さや前後の位置を個体毎に調整する等により、牛に苦痛を与えることはなく、むしろ牛床を清潔かつ快適にすることができる。

また、カウトレーナーを利用することで、牛床を清潔に保つことができ、動物の福祉、乳房の衛生や乳質の向上につながるなどの利点があることも考慮すべきである。

第7.x.5条

2. 飼育者の能力と動物の管理に関する推奨事項

h) 種雄牛の選択と交配・周産期管理

(第1パラグラフ)

難産は乳牛の幸福を脅かす恐れがある。未経産牛は、出産時に母子双方の健康と快適性を確保するのに十分なほど身体が成長する前に種付けしてはいけない。雄牛は、子牛の大きさに与える遺伝的効果が高くあり、それゆえ、分娩難易度に有意に影響する。受精卵移植、人工授精または自然交配のための雄牛の選択は、雌牛の大きさと成熟度を考慮すべきである。

(理由)

分娩難易度の遺伝率は低いため、遺伝的な効果を強調しすぎるのは適切でない。次の文献を参照されたい。

- <http://www-interbull.slu.se/bulletins/bulletin33/Jakobsen.pdf>

(Table 2 Column DCE/Heritabilities)

- http://www-interbull.slu.se/national_ges_info2/framesida-ges.htm

(Table 3 Column h2DCE)

注) 日本の提案は灰色で網掛し、挿入箇所は二重下線、削除箇所は取り消し線が引かれています。

なお、世界中の遺伝率は、次のサイトでも閲覧可能である。

- http://www-interbull.slu.se/national_ges_info2/framesida-ges.htm
(Column Ca)

また参考までに、肉用牛の遺伝率は乳用牛に比べて高い。

- Kizilkaya, K., Banks, B.D., Carnier, P., Albera, A., Bittante, G., Tempelman, R.J. (2002) Bayesian inference strategies for the prediction of genetic merit using threshold models with an application to calving ease scores in Italian Piemontese cattle. J Anim Breed Genet. 119, 209-220
- Trus, D., Wilton, W. (1988) Genetic parameters for maternal traits in beef cattle. Can J Anim Sci 68, 119-128
- Mujibi, F.D.N., Crews Jr, D.H. (2009) Genetic parameters for calving ease, gestation length and birth weight in Charolais cattle. J Anim Sci. 87, 2759-2766

第7.x.5条

2. 飼育者の能力と動物の管理に関する推奨事項

m) 痛みを伴う処置

i) 除角

(第3パラグラフ)

乳牛の除角が必要な場合、生産者は獣医アドバイザーから、その牛の種類や生産方法に応じて、適切な手技、麻酔や鎮痛剤の利用及び時期に関する指導を求めなければならない。

可能な限り、早期に除角し、獣医師の監督下でから麻酔や鎮静剤をの利用に関する指導を受けることが強く推奨される。

(理由)

OIE 総会で2回採決され、同一品種である肉用牛の記述と整合させるため。